

SDGs3

すべての人に健康と福祉を

感染症(症状とリスク)

<新型コロナ>

- ・症状→味覚嗅覚が異常になる
頭痛、発熱、咳、息切れ
筋肉痛、疲労感、呼吸困難
- ・影響→2020年3月2日全国の小・中・高が
臨時休校。2020年4月2日から都内で
外出自粛要請。東京オリンピックの
中止など。
- ・ワクチンの研究が進んでいる。

<インフルエンザ>

- ・症状→咳や喉の痛みなどの呼吸器の症状や高熱、
倦怠感、食欲不振などの全身症状、頭痛、
関節痛、筋肉痛などの呼吸器以外の症状
- ・合併症→気管支炎、肺炎、中耳炎など
- ・予防方法→流行前のワクチン接種、適度な温度の
保持、免疫力を高める

<マラリア>

- ・症状→頭痛、発熱、悪寒、震えをきたし、
発汗と共に解熱する
- ・予防法→DEETと含有する虫よけ蚊帳、蚊取り線香
を使う、露出部を減らす、夜間外出を
控える

貧困層とワクチン

まずはじめに、日本のような先進国でも経済格差によって医療を受けられないこともあります。貧困層の子どもは非貧困層の子供よりも入院率が高いです。世界では途上国での5歳児までの生存率が低く、年間540万人が5歳を迎えられません。主な死亡原因はマラリア、肺炎、結核です。そのような症状のうち、薬があれば治るものもあるが、現実には薬が手に入らず簡単に亡くなってしまいます。すべての人が保険医療サービスを受ける為には経済の発達が必要です。

病気によってはワクチンによって抑えられる病気もあります。ですが経済的理由や環境によってワクチンを受けることができなかつたり、接種が遅かつたりすることで死につながってしまつたりします。現在、コロナウイルスが流行しているなか世界中でワクチンの開発が進んでいます。そのワクチンを作るためには莫大なお金が必要です。貧困層の人々でも医療・ワクチンを受ける為にはたくさんの人々の協力が必要です。

【平均寿命の変化】



現在の日本の平均寿命は80歳を越えている、と言われて
いるが、ひとつ前の時代である戦国時代の頃の平均寿命
はなんと、今と比べればおよそ2分の1である、40歳程
しかなかったそうだ。

また、世界の平均寿命も、昔と比べると現在進行形で伸
びている国が多い。

理由としては、医療技術の発達や環境の改善等があげら
れるらしい。喜ばしい出来事と言えるが、これらは地球
上に存在する国の一部での出来事に過ぎない。

同時に、栄養のある食べ物さえ。透明な飲み水さえ
手に入れられずに、飢餓や感染症等で死んでいく人
たちが大勢存在しているのも、事実なのだ。

そんな国を、救えるのは私たちしかない。

私たちができることといえば、募金でお金を募集して
届けたり、署名を募ったりと、そんなことしかできな
いが、そんな小さなことでも彼らには希望の光になる
こともある。

皆さんで彼らに、
進んで手を差し伸べましょう。



【福祉施設について】

【福祉施設とは？】

⇒一人で社会生活を送ることが困難な人たちを対象に福祉を受けることができる施設のこと。主な取り組みは障がいのある人たちへの支援や、保育、介護などがある。

【福祉施設が今抱えている問題】

⇒人手不足、費用の高騰、高齢化による介護難民(介護が必要なのに満足に介護を受けられない人たち)の増加など…



【海外と比べてみて】

デンマーク…高齢化対策のモデル国として有名。医療費
や教育費が無料

イギリス…年金の値下げが検討されているが、ボランティア
活動が非常に活発。

アメリカ…家で福祉が受けられるサポート住居が存在する。

⇒日本はほかの国と比べてかなり福祉施設に力を入れているが、解決できない問題がまだまだある。



【社会福祉】

1. 医療費三割負担

→6歳～70歳以上の人は三割負担。6歳未満と70～74歳未満の人は二割負担。75歳以上の人は一割負担である。ただし、現役並みの取得がある70歳以上の人は三割負担。残りのお金は国民全員が払う保険料で賄う。



2. 年金機構

→年金機構とは、日本年金機構方に基づいて公的年金係る一連の運営業務を行う機関のこと。公的年金には、20歳以上の全国民が加入する国民年金と、会社員や公務員が加入する厚生年金がある。日本の公的年金制度は、働いている世代の保険料が現在の高齢者の年金になるので、「世代の支え合い」によって成立している。



3. 日本の福祉と世界の福祉

→国連の目線から見て、日本の福祉の制度はとても優秀である。日本にある障害者手帳は世界ではほとんどなかったり、イギリス鉄道の整備はあまり整ってなかったりと、世界ではまだ福祉が整っていないところがたくさんある。



4. 日本の福祉の種類

→福祉には生活保護、児童福祉、高齢者福祉、身体障害者福祉、知的障害者福祉、母子及び寡婦福祉、精神保健及び精神障害者福祉、売春防止、障害者総合支援などたくさんある。



支援・募金について

募金について

☆2019年度の募金額は6億1505万円(資料1)
 その中でも学校の支援額は1%、団体が3%、企業10%、
 個人が86%となっています。

☆募金がたくさん集まると、子供用の鉛筆・ノートを買
 えたり水を綺麗にする薬を買えたりします。100円か
 らでもワクチンや栄養治療剤を買えます。



しかし、募金をする機会がないと募金をする人が少ない
 ので募金の機会を与えることが必要です。



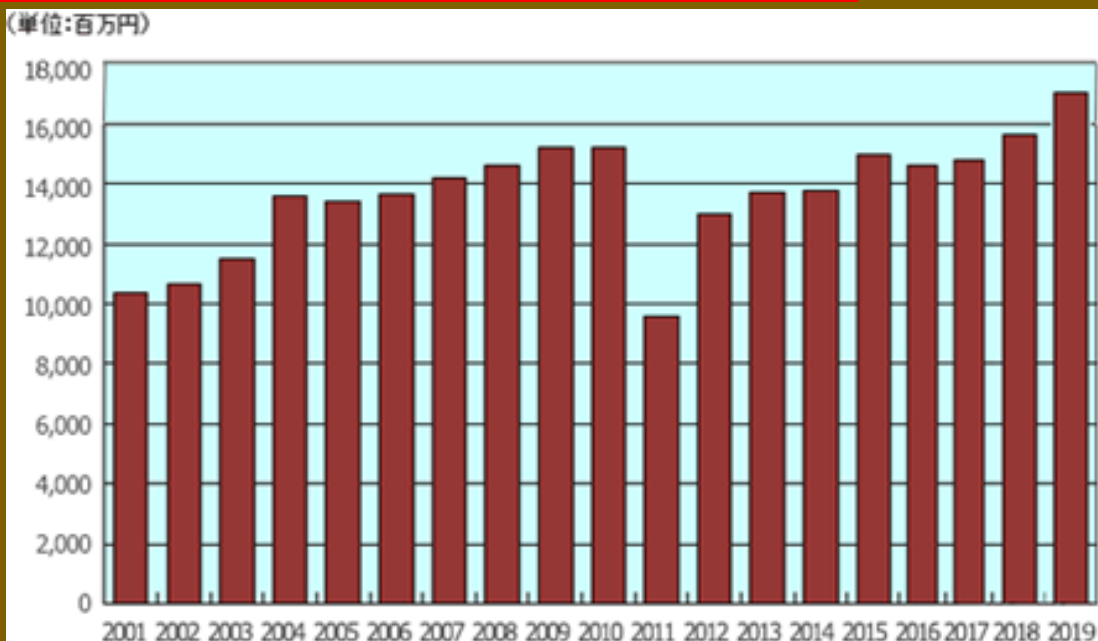
支援について

☆支援としてはNGOなどの機関が、募金の活動・直接
 現地に行き、設備を整えること等を行っています。
 その例として、「クボタ」という会社が、直接現地に行
 き、水インフラの設備によって安心な水の供給と、再生
 に貢献しています。(これは、私たちが調べている
 SDGs3番に当たります。)

☆支援している有名な機関として、「ユニセフ
 「NGO」「赤い羽根共同募金」「クボタ」などがあ
 ります。

調べてみて

募金も大切ですが、将
 来的には自立して国を
 発展させられるよう
 にするために、
 支援が一番大切だと思
 いました。



(資料1)

SDGs3まとめ

健康であることは人間が生きていく上で最も基本的な要素です。教育を受けるにも仕事をするにも人として豊かに生きていくためには健康であることが重要であり、その権利が全ての人に与えられるべきです。

先進国ではすでに予防可能である疾病で、途上国で命を落としている子どもたちがたくさんいます。

すべての人が健康的な生活を確保できるよう先進地域の意識改革や支援活動が求められます。

